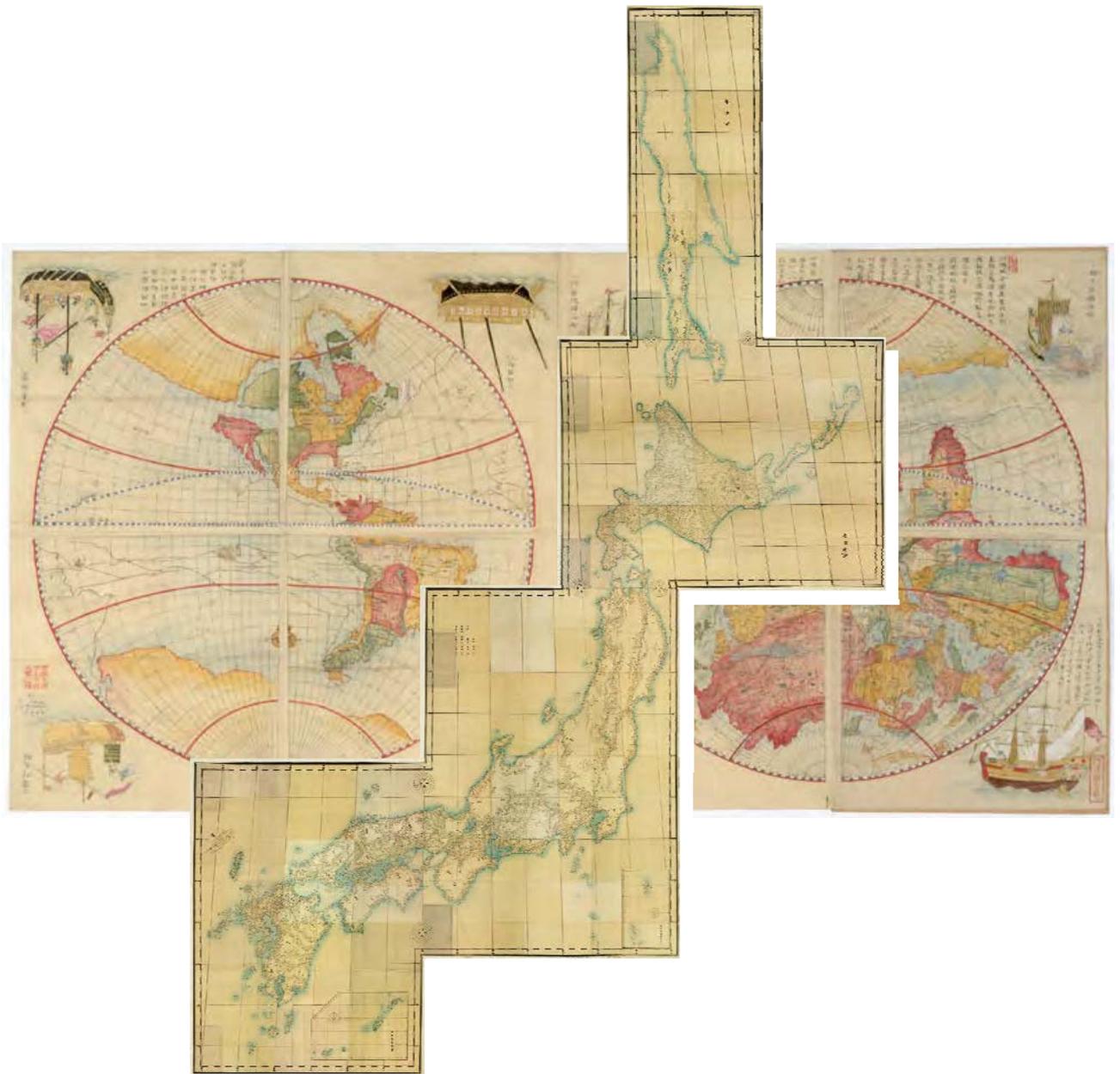


平成23年度

図書館概要



徳島大学附属図書館

* 表紙の写真は、官板実測日本地図（整理番号：全7，全8，全9，全10）と地球全図（整理番号：世7）

目次

1.	沿革.....	1
2.	歴代館長・分館長.....	4
3.	組織機構.....	6
4.	蔵書・施設・設備.....	7
4.1.	蔵書.....	7
4.2.	施設・設備の概要.....	8
4.3.	本館.....	9
4.4.	蔵本分館.....	11
4.5.	学習環境とラーニング・commonsの展開.....	13
5.	コレクション.....	15
5.1.	貴重資料.....	15
5.2.	個人文庫.....	17
5.3.	郷土資料.....	17
5.4.	大型コレクション.....	17
6.	電子図書館サービス.....	19
6.1.	データベース.....	19
6.2.	電子ジャーナル.....	20
6.3.	貴重資料のデジタル化.....	21
6.4.	徳島大学機関リポジトリ.....	22
7.	広報.....	23
7.1.	附属図書館ホームページ.....	23
7.2.	メールマガジン「すだち」.....	24
7.3.	概要及び年次報告書.....	24
7.4.	オープンキャンパス.....	25
8.	講演会等.....	26
8.1.	学術講演会.....	26
8.2.	展示会等.....	27

8.3. 知的感動ライブラリー.....	29
9. 地域社会及び学外機関との連携・協力	30
9.1. 一般市民への図書館公開.....	30
9.2. 県内図書館との連携	30
9.3. 大学図書館の協会・協議会	31
10. 所在地・アクセス.....	32
10.1. 所在地と交通アクセス	32
10.2. キャンパスマップ	33

1. 沿革

- 昭和 24. 5 国立学校設置法（法律第150号）の公布により旧制の徳島師範学校，徳島青年師範学校，徳島医科大学，徳島医学専門学校，徳島高等学校，徳島工業専門学校を包括し，学芸学部，医学部，工学部の3学部で構成する新制の国立徳島大学として発足 附属図書館は，学芸学部図書分館，医学部図書分館，工学部図書分館として発足
26. 4 国立学校設置法の一部改正（法律第84号）により薬学部設置（工学部製薬工業科から独立），工学部図書分館を併用
27. 5 附属図書館（本館）設置，学芸学部図書分館，工学部図書分館を併せて常三島分館，医学部図書分館を蔵本分館と改称
34. 4 本館事務機構を総務係から総務係，図書係に改組
37. 3 蔵本分館書庫新築完成
38. 2 蔵本分館事務室新築完成
4. 薬学部関係図書を常三島分館から蔵本分館へ移転
43. 3 常三島分館廃止（本館に包括）
44. 11 蔵本分館事務機構を事務室から受入係，運用係に改組
46. 3 常三島地区に本館新築完成
53. 3 本館書庫を4層から5層に1層増設完成
- 10 蔵本分館事務機構を受入係，運用係から受入係，整理係，運用係に改組
54. 3 蔵本分館増築完成
55. 4 本館事務機構を総務係，整理係，運用係から総務係，受入係，整理係，運用係に改組
58. 4 蔵本分館事務機構を受入係，整理係，運用係から受入係，整理係，運用係，情報調査係に改組
59. 4 情報処理センター（現，情報化推進センター）電算機システムによりオンラインによる閲覧業務開始
60. 3 本館増築完成
- 平成 2. 2 附属図書館専用電子計算機を導入
- 2 学術情報センター（現，国立情報学研究所）総合目録ネットワークに参加
3. 4 附属図書館事務部に部課制を設置，事務機構を情報管理課5係（総務，図書情報，雑誌情報，分館資料情報，分館目録情報），情報サービス課3係（情報サービス，学術情報，分館情報サービス）に改組
- 4 情報管理課に図書館専門員設置
- 4 OPAC（オンライン蔵書検索システム）運用開始
4. 4 事務機構を情報管理課4係（総務，図書情報，雑誌情報，分館資料情報），情報サービス課4係（情報サービス，学術情報，分館情報サービス，分館情報調査）に改組
- 4 学術情報センターILL（図書館間相互貸借）システムによるサービス開始
- 4 土曜開館実施
5. 7 目録システム地域講習会を徳島大学附属図書館で開催
6. 2 附属図書館専用電子計算機更新
- 7 CD-ROM（MEDLINE）ネットワークサービス開始
- 9 蔵本分館（東館）増築完成
- 9 本館時間外開館時間延長
7. 9 蔵本分館試験期時間外開館時間延長
8. 3 自己点検評価報告書刊行
9. 1 本館学術雑誌閲覧室設置
- 2 UNIX版図書館電算機システム導入

- 10. 4 「徳島大学附属図書館インターネットによる広報実施要項」を施行
- 4 附属図書館ホームページ開設
- 4 貴重書高精度画像データベース公開（伊能図・古絵図の高精細画像データベース化）
- 4 CA on CD, CI on CD ネットワークサービス開始
- 4 図書自動貸出装置導入
- 4 マルチメディア・プラザ設置（本館）
- 7 無料電子ジャーナルサービス開始
- 10 特殊資料閲覧室・展示室設備
- 11. 3 オーディオ・ビジュアル・メディア室設置
- 3 マルチメディア・コーナー設置（蔵本分館）
- 12. 3 夜間入退館管理システム導入（蔵本分館）
- 4 情報サービス課4係（情報サービス，学術情報，分館情報サービス，分館情報調査）を情報サービス課4係（情報サービス，学術情報，電子情報，分館情報サービス）に改組
- 4 所蔵資料の遡及入力事業（10年計画の1年次）開始
- 13. 4 日曜開館実施
- 6 教官と大学院生を対象に図書館利用に関するアンケートを実施
- 9 試験期23時まで開館実施
- 14. 1 コンソーシアム参加による電子ジャーナル利用開始
- 1 SciFinder Scholar の導入
- 5 学生証利用の入退館管理システム運用開始
- 11 英文版ホームページ開設
- 15. 1 自己点検・評価報告書刊行
- 7 試験期間中の祝日開館実施
- 7 日本薬学図書館協会脱会
- 16. 2 本館に投書箱を設置
- 4 国立大学法人徳島大学の設置
- 17. 2 メールマガジン 館報「すだち」創刊号発刊
- 10 Web of Science 導入
- 11 附属図書館キャラクター募集・決定（本の虫「のほほんクン」，平成20年11月まで使用）」
- 18. 2 「附属図書館整備計画」策定
- 3 事務部制の廃止，学術情報係の廃止
- 4 学術研究国際部に所属，課名・係名変更
- 4 午前8時40分開館開始，本館は午後10時まで開館
分館は時間外特別利用を午前0時までとする
- 7 AED（自動体外式除細動器）を本館に設置
- 19. 4 情報部に所属，課名・係名変更なし
- 12 蜂須賀家家臣団家譜史料データベースの一般公開開始
- 20. 5 AED 設置（蔵本分館）
- 9 本館改修工事開始
- 11 徳島県大学図書館協会ホームページを開設
- 12 学生によるブックハンティング実施（以後毎年開催）
- 21. 1 蔵本分館北側玄関改修（風除室設置）
- 3 本館改修竣工
- 3 情報探索ガイドブック「情報通」作成
- 6 自動入館システムの開始，通常開館時間の再開（本館）
- 6 附属図書館本館リニューアルオープン記念式典，正式開館

- 10 国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議
- 11 徳島大学創立60周年記念学術講演会「徳島城下町と洲本城下町」
- 11 太陽光発電パネル設置竣工（本館）
- 11 本館・分館の和装本資料の燻蒸，本館和装本資料室及び貴重資料室の燻煙処理
- 22. 1 養護学校生の就業体験（本館）
- 1 徳島大学機関リポジトリの試験運用開始
- 3 蔵本分館エレベータ改修工事
- 3 蔵本分館照明設備改修工事
- 3 情報探索ガイドブック「情報通」改訂
- 4 第58回中国四国地区大学図書館協議会総会（当番館：徳島大学附属図書館）
- 4 第37回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会（当番館：徳島大学附属図書館）
- 6 附属図書館キャラクター決定「つねくら学園のなかまたち」
- 10 平成22年度徳島大学附属図書館学術講演会（第22回）「山西家の繁栄と徳島の経済」
- 10 徳島大学機関リポジトリの正式運用開始
- 11 ライブラリー・ワークショップの立ち上げ，イベント開催
- 23. 2 支援学校生の就業体験（本館）
- 2 図書館バッグ（視聴覚資料貸出袋）の制作（本館）
- 3 就活本コーナーの設置（本館）
- 3 泉山文庫（島田麻寿吉氏旧蔵本）の目録データ入力完了
- 3 図書館利用案内ビデオ作成
- 3 古地図の電子化と複製印刷絵図を展示用に軸装

2. 歴代館長・分館長

○附属図書館長	初代	松田	亮一 (工学)	昭 27. 5. 23～	昭 29. 5. 22
	2	市来崎	寿蔵 (薬学)	昭 29. 5. 23～	昭 31. 5. 22
	3	市来崎	寿蔵 (薬学)	昭 31. 5. 23～	昭 33. 3. 31
	4	冲野	舜二 (学芸)	昭 33. 4. 1～	昭 35. 3. 31
	5	高島	律三 (医学)	昭 35. 4. 1～	昭 37. 3. 31
	6	伊藤	努 (工学)	昭 37. 4. 1～	昭 38. 7. 17
	7	田村	昇 (薬学)	昭 38. 7. 18～	昭 40. 7. 17
	8	宮城	文雄 (教育)	昭 40. 7. 18～	昭 42. 7. 17
	9	鈴木	幸夫 (医学)	昭 42. 7. 18～	昭 44. 7. 17
	10	鈴木	幸夫 (医学)	昭 44. 7. 18～	昭 46. 7. 17
	11	丸山	隆玄 (工学)	昭 46. 7. 18～	昭 48. 7. 17
	12	丸山	隆玄 (工学)	昭 48. 7. 18～	昭 49. 4. 1
	13	吉田	長之 (医学)	昭 49. 4. 2～	昭 51. 4. 1
	14	富本	健輔 (教養)	昭 51. 4. 2～	昭 53. 4. 1
	15	松本	淳治 (医学)	昭 53. 4. 2～	昭 55. 4. 1
	16	竹治	貞夫 (教育)	昭 55. 4. 2～	昭 57. 4. 1
	17	小林	茂 (薬学)	昭 57. 4. 2～	昭 59. 4. 1
	18	浦川	和馬 (工学)	昭 59. 4. 2～	昭 60. 4. 18
	(取)	川田	十三夫 (医学)	昭 60. 4. 18～	昭 60. 7. 31
	19	川田	十三夫 (医学)	昭 60. 8. 1～	昭 62. 7. 31
	20	須鎗	和巳 (教養)	昭 62. 8. 1～	平元. 7. 31
	21	宮本	博司 (医学)	平元. 8. 1～	平 3. 7. 31
	22	後藤	健次 (総合)	平 3. 8. 1～	平 5. 7. 31
	23	井上	秀夫 (歯学)	平 5. 8. 1～	平 7. 7. 31
	24	青山	吉隆 (工学)	平 7. 8. 1～	平 8. 3. 31
	25	河野	清 (工学)	平 8. 4. 1～	平 9. 3. 31
	26	寺田	弘 (薬学)	平 9. 4. 1～	平 11. 3. 31
	27	岩田	紀 (総合)	平 11. 4. 1～	平 13. 3. 31
	28	森田	雄介 (医学)	平 13. 4. 1～	平 15. 3. 31
	29	林	弘 (工学)	平 15. 4. 1～	平 17. 3. 31
	30	細井	和雄 (歯学)	平 17. 4. 1～	平 19. 3. 31
	31	石川	榮作 (総合)	平 19. 4. 1～	平 21. 3. 31
	32	際田	弘志 (薬学)	平 21. 4. 1～	平 23. 3. 31
	33	野地	澄晴 (工学)	平 23. 4. 1～	

○常三島分館長	初代	岸本	実 (学芸)	昭 27. 5. 23～	昭 29. 5. 22
	2	安村	二郎 (工学)	昭 29. 5. 23～	昭 31. 5. 22
	3	冲野	舜二 (学芸)	昭 31. 5. 23～	昭 33. 3. 31
	4	平形	照男 (薬学)	昭 33. 4. 1～	昭 35. 3. 31
	5	久米	泰三 (工学)	昭 35. 4. 1～	昭 37. 3. 31
	6	富野	敬邦 (学芸)	昭 37. 4. 1～	昭 39. 3. 31
	7	杉野	捨三郎 (工学)	昭 39. 4. 1～	昭 41. 3. 31
	8	幸泉	芳夫 (教育)	昭 41. 4. 1～	昭 43. 3. 31

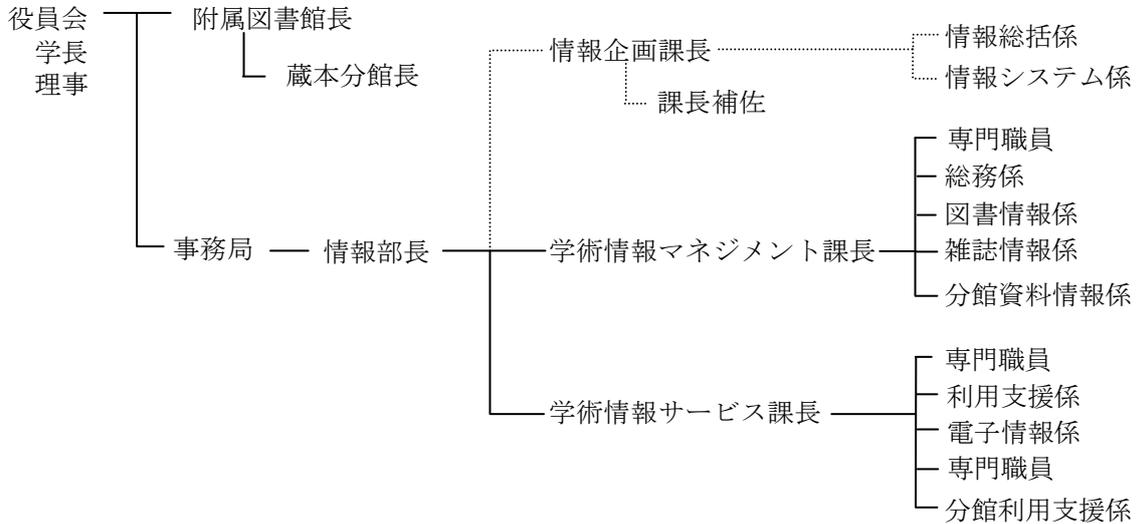
昭和 43 年 3 月 31 日 廃止 (本館に包括)

○蔵本分館長

初代	黒田	嘉一郎 (医学)	昭 27. 7. 22~	昭 29. 3. 31
2	梶本	義衛 (医学)	昭 29. 4. 1~	昭 31. 3. 31
3	吉田	長之 (医学)	昭 31. 4. 1~	昭 33. 3. 31
4	新見	嘉兵衛 (医学)	昭 33. 4. 1~	昭 35. 3. 31
5	高島	律三 (医学)	昭 35. 4. 1~	昭 37. 3. 31
6	高島	律三 (医学)	昭 37. 4. 1~	昭 39. 3. 31
7	棚瀬	弥一郎 (薬学)	昭 39. 4. 1~	昭 41. 3. 31
8	鈴木	幸夫 (医学)	昭 41. 4. 1~	昭 42. 7. 17
9	四方	一郎 (医学)	昭 42. 7. 18~	昭 45. 3. 31
10	小林	茂 (薬学)	昭 45. 4. 1~	昭 47. 3. 31
11	山田	正興 (医学)	昭 47. 4. 1~	昭 49. 3. 31
12	川田	純 (薬学)	昭 49. 4. 1~	昭 51. 3. 31
13	松本	淳治 (医学)	昭 51. 4. 1~	昭 53. 3. 31
14	亀谷	富士夫 (薬学)	昭 53. 4. 1~	昭 55. 3. 31
15	檜澤	一夫 (医学)	昭 55. 4. 1~	昭 57. 3. 31
16	高田	充 (歯学)	昭 57. 4. 1~	昭 59. 3. 31
17	川田	十三夫 (医学)	昭 59. 4. 1~	昭 60. 7. 31
18	塚谷	博昭 (薬学)	昭 60. 8. 1~	昭 63. 3. 31
19	宮本	博司 (医学)	昭 63. 4. 1~	平元. 7. 31
20	坂東	永一 (歯学)	平元. 8. 1~	平 3. 3. 31
(取)	宮本	博司 (医学)	平 3. 4. 1~	平 3. 7. 31
21	山下	卓哉 (薬学)	平 3. 8. 1~	平 5. 7. 31
22	森田	雄介 (医学)	平 5. 8. 1~	平 7. 7. 31
23	上村	修三郎 (歯学)	平 7. 8. 1~	平 9. 7. 31
24	石村	和敬 (医学)	平 9. 8. 1~	平 11. 7. 31
25	山内	卓 (薬学)	平 11. 8. 1~	平 13. 7. 31
26	細井	和雄 (歯学)	平 13. 8. 1~	平 15. 7. 31
27	泉	啓介 (医学)	平 15. 8. 1~	平 17. 7. 31
28	樋口	富彦 (薬学)	平 17. 8. 1~	平 19. 7. 31
29	福井	義浩 (医学)	平 19. 8. 1~	平 21. 7. 31
30	福井	義浩 (医学)	平 21. 8. 1~	平 22. 3. 31
31	吉本	勝彦 (歯学)	平 22. 4. 1~	

3. 組織機構

平成 23 年 7 月 1 日現在



職 員 数

	職 員	有期雇用職員		合 計
		契約	パート	
本 館				
部 長	1			1
課 長	2			2
専門職員	2			2
総務係	1	1	1	3
図書情報係	2		4	6
雑誌情報係	2		1	3
利用支援係	2	1	3 (6)	6 (6)
電子情報係	(係長併任)	1	1	2
小 計	1 2	3	1 0 (6)	2 5 (6)
蔵本分館				
専門職員	1			1
分館資料情報係	2		3	5
分館利用支援係	2		3 (6)	5 (6)
小 計	5		6 (6)	1 1 (6)
合 計	1 7	3	1 6 (12)	3 6 (12)

() 内は時間外開館要員：外数

4. 蔵書・施設・設備

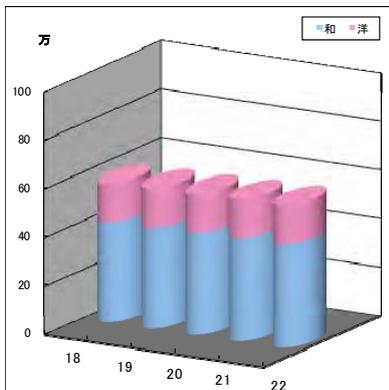
徳島大学附属図書館は常三島キャンパスの「本館」と蔵本キャンパスの「蔵本分館」の二つの図書館で構成されており、それぞれのキャンパスに立地する学問分野に即したサービスを行っています。

4.1. 蔵書

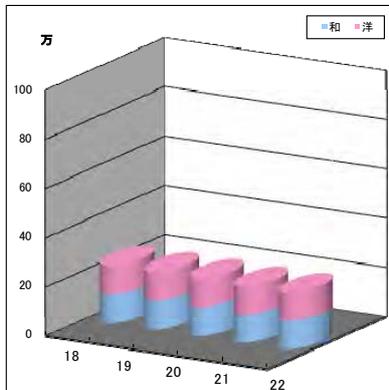
本館(図書と製本雑誌冊数)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成18年度	411,751	158,556	570,307
平成19年度	417,674	159,826	577,500
平成20年度	421,014	160,316	581,330
平成21年度	426,127	160,194	586,321
平成22年度	428,773	160,352	589,125

蔵本分館(図書と製本雑誌冊数)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成18年度	116,973	117,846	234,819
平成19年度	117,998	117,580	235,578
平成20年度	117,985	117,056	235,041
平成21年度	115,394	115,052	230,446
平成22年度	116,865	113,976	230,841

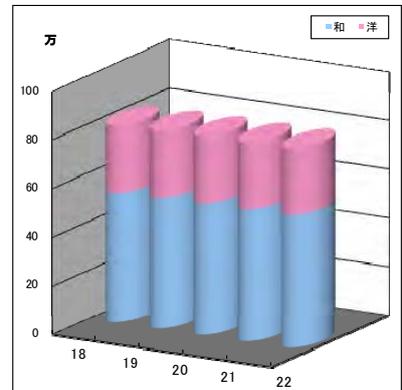
合計(図書と製本雑誌冊数)			
年度	和	洋	全所蔵冊数
平成18年度	528,724	276,402	805,126
平成19年度	535,672	277,406	813,078
平成20年度	538,999	277,372	816,371
平成21年度	541,521	275,246	816,767
平成22年度	545,638	274,328	819,966



(平成22年度受入数 6,724冊)



(平成22年度受入数 2,648冊)

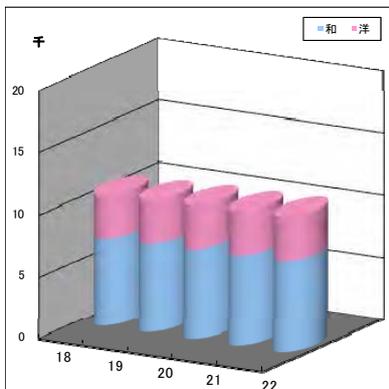


(平成22年度受入数 9,372冊)

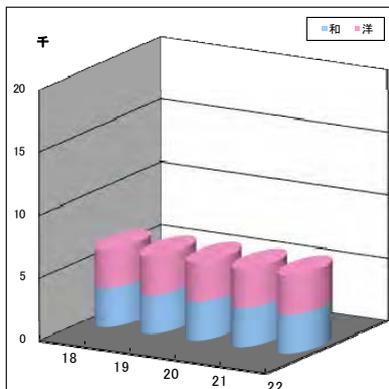
本館(雑誌種類数)			
年度	和	洋	計
平成18年度	7,030	3,503	10,533
平成19年度	7,156	3,520	10,676
平成20年度	7,297	3,529	10,826
平成21年度	7,335	3,536	10,871
平成22年度	7,425	3,551	10,976

蔵本分館(雑誌種類数)			
年度	和	洋	計
平成18年度	3,127	3,067	6,194
平成19年度	3,158	3,091	6,249
平成20年度	3,178	3,103	6,281
平成21年度	3,190	3,107	6,297
平成22年度	3,194	3,112	6,306

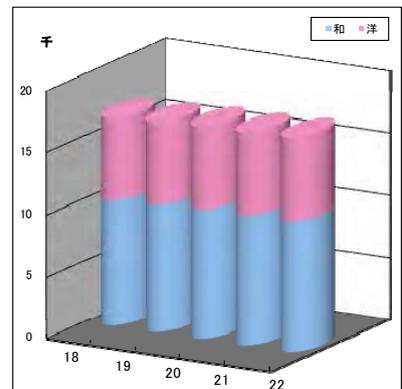
合計(雑誌種類数)			
年度	和	洋	計
平成18年度	10,157	6,570	16,727
平成19年度	10,314	6,611	16,925
平成20年度	10,475	6,632	17,107
平成21年度	10,525	6,643	17,168
平成22年度	10,619	6,663	17,282



(平成22年度増加数 105種)
(平成22年度受入数 2,580種)



(平成22年度増加数 9種)
(平成22年度受入数 1,069種)



(平成22年度増加数 114種)
(平成22年度受入数 3,649種)

4.2. 施設・設備の概要

◎面積

区 分	本 館	蔵 本 分 館	合 計
サービススペース			(㎡)
閲覧スペース	1, 8 8 1	8 9 7	2, 7 7 8
視聴覚スペース	2 6 1	1 0 6	3 6 7
そ の 他	6 9 4	8 8	7 8 2
管理スペース			
書 庫	1, 1 6 3	1, 2 6 6	2, 4 2 9
事務スペース	4 2 6	3 4 6	7 7 2
そ の 他	6 8 7	4 0 4	1, 0 9 1
合 計	5, 1 1 2	3, 1 0 7	8, 2 1 9

◎座席数

区 分	本 館	蔵 本 分 館	合 計
サービススペースエリア座席数	6 0 7	3 5 4	9 6 1

4.3. 本館

総合科学部，工学部の学生教職員及び共通教育課程の学生を主な対象としてサービスしています。

【新着雑誌コーナー】
学術雑誌の最新号が閲覧できます



【カフェテリア】
コミュニケーションエリアの象徴です。自販機を2台設置しています。



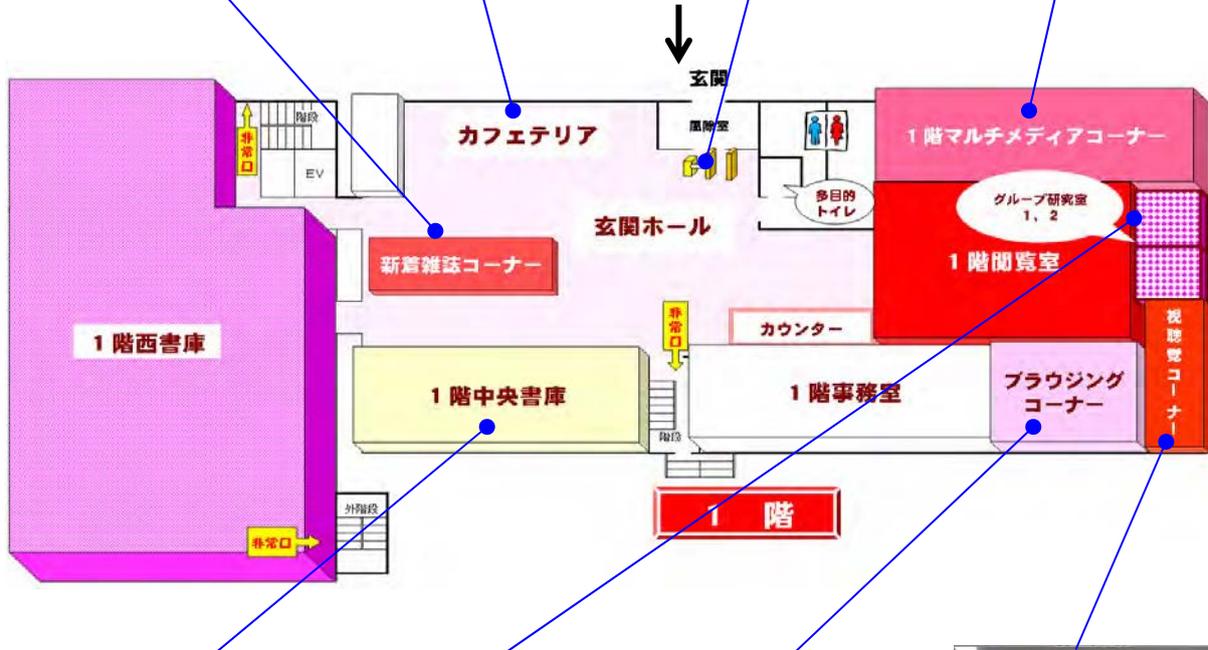
【自動入館システム】
利用証(学生証)のバーコードを読み取り，開閉します。



【マルチメディアコーナー】
24台のPCが向かい合わせで設置されています。会話しながら利用できます。スクリーンも備えています。



1階北側に玄関があります。左右にスロープを配し，身障者用の駐車スペースも完備しています。



【1階中央書庫】
洋雑誌のバックナンバーを配置しています。普通の書架の2倍の収容能力があります。



【グループ研究室】
1階に2室用意しています。申し込みが必要です。



【ブラウジングコーナー】
軽い読み物を揃え，すわり心地の良い椅子を配置しています。視聴覚コーナーと一体化して癒し空間となっています。



【視聴覚コーナー】
4つのブースとグループで視聴できる大型ディスプレイの2通りで楽しめます。視聴覚資料は周りに配置されています。

【研究個室】
教員、大学院生が利用できます。空いてたら、学部学生も使用可能です。申し込みが必要です。



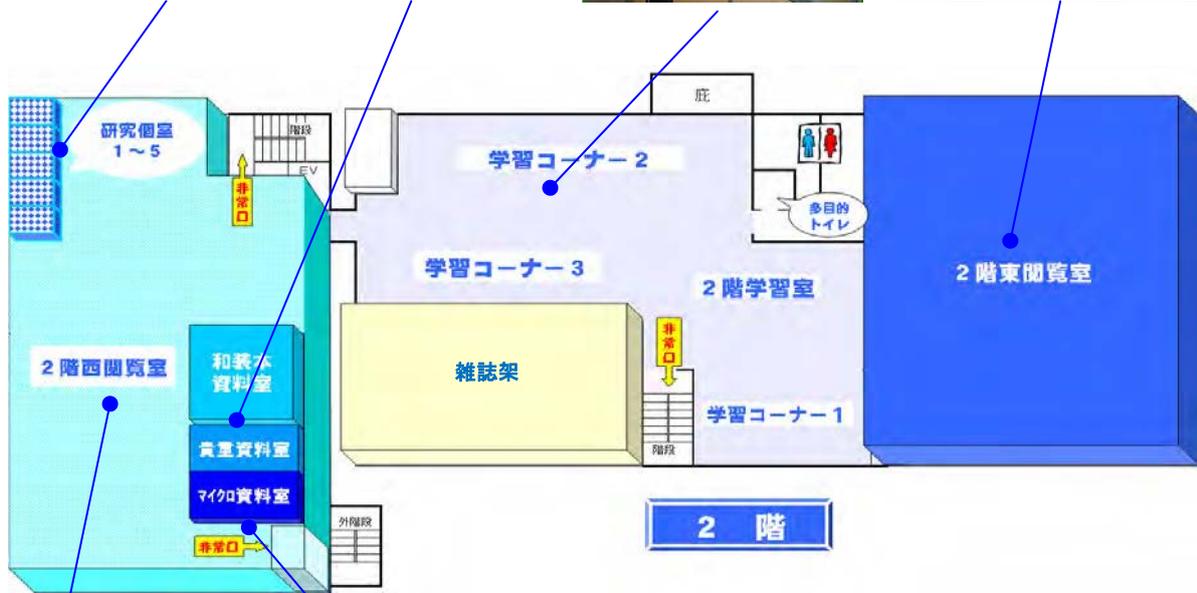
【和装本資料室・貴重資料室】
和装本と貴重資料が所蔵されている部屋です。



【学習コーナー2】
個人ブース感覚で利用できます。人気のエリアです。



【2階東閲覧室】
自然系図書を配置しています。



【2階西閲覧室】
社会系図書を配置しています。



【マイクロ資料室】
マイクロフィルム等を配置し、閲覧のためのリーダーがあります。



【資料展示室】
資料等の展示会を開催します。



【3階マルチメディアコーナー】
26台のPCを配置し、スクリーンも備えています。



【3階東閲覧室】
人文系図書を配置しています。



4.4. 蔵本分館

医学、歯学、薬学及び生命科学分野の学生教職員向け資料を中心にサービスを提供しています。耐震改修工事が決まり、学習スペースを拡大し、充実した機能を備えた図書館が、平成24年度にリニューアル開館予定です。平成23年9月から平成24年2月までは、蔵本会館2階に仮設図書館を開館します。

【ミーティングルーム】

グループ学習室や混雑期の閲覧室として利用できます。



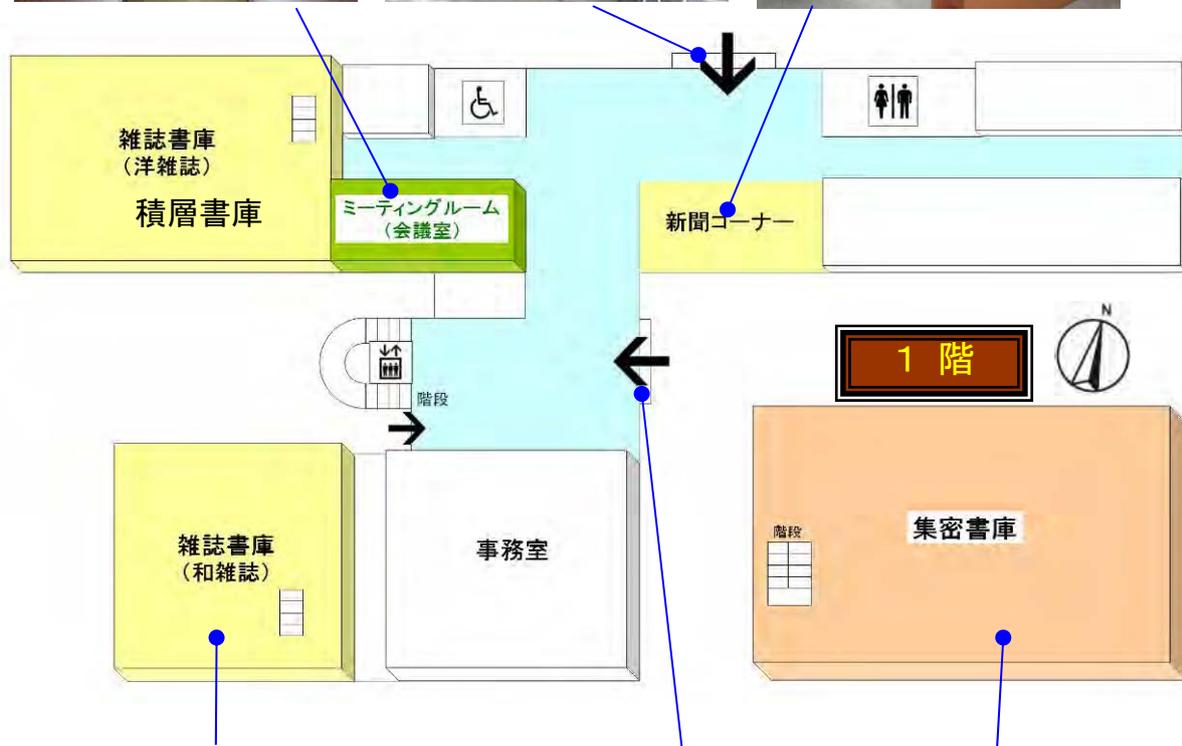
【玄関】

北側の玄関です。



【新聞コーナー】

当日の新聞(5種)が閲覧できます。



【書庫】

雑誌のバックナンバーがタイトルのアルファベット(和雑誌はローマ字読み)順に並んでいます。



【玄関】

東側の玄関です。



【集密書庫】

人文科学、社会科学などの分野の資料や、他大学紀要、古い学術雑誌などを配架しており自由に閲覧できます。

【雑誌閲覧室】

新着学術雑誌を配架しています。奥には個人閲覧机もあります。



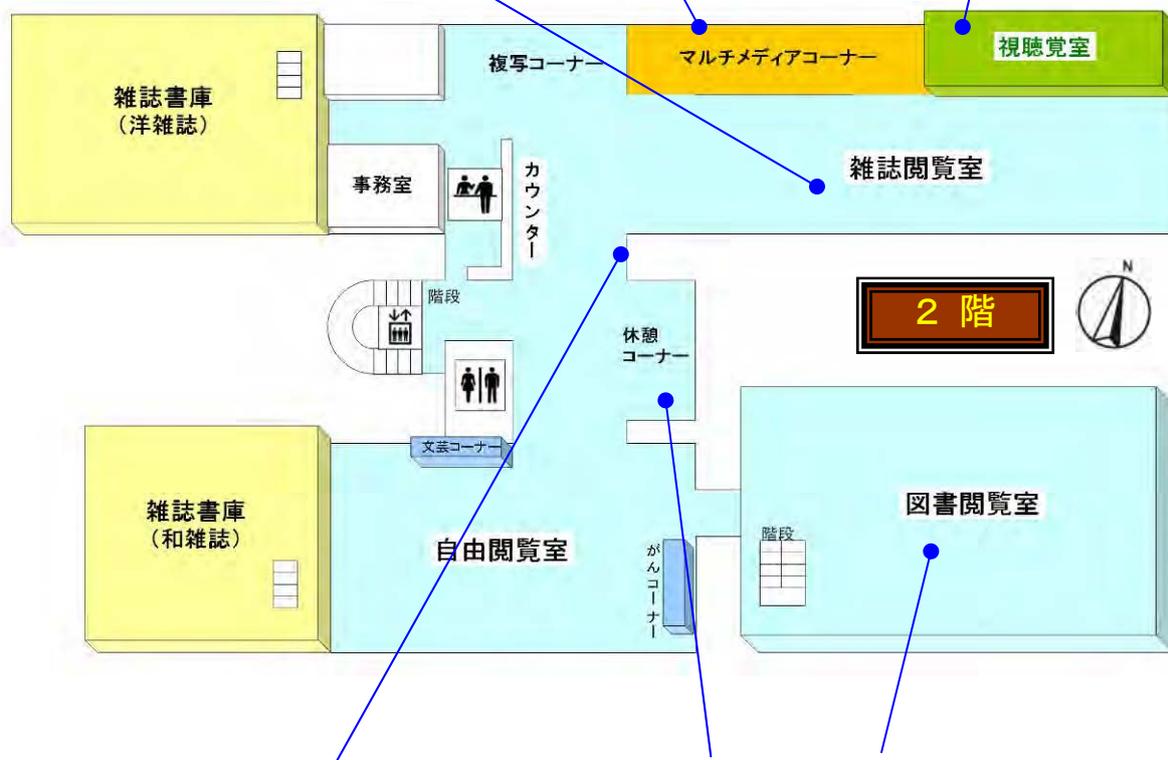
【マルチメディアコーナー】

インターネットに接続されたパソコンが利用できます。



【視聴覚室】

オーディオ・ビデオ資料やBS放送などが視聴できます。グループ学習にも利用できます。



【自動貸出装置】

図書の貸出や延長を自動で行います。



【休憩コーナー】

当日の新聞(2種)と月刊誌や週刊誌を置いています。



【図書閲覧室】

生命科学系を中心とした学習用図書や参考図書があります。

4.5. 学習環境とラーニング・コモنزの展開

本館は、2年前にリニューアル開館しましたが、本館改修のコンセプトは、学習環境の最適化、いわゆるラーニング・コモنزを核に、教育とコミュニケーションの場としての再生でした。ラーニング・コモنزとは、学生の学習に必要なもの・サービスが集約されている学習環境のことです。改修から2年が経過し、施設面での充実に加え、教員との連携による活動を行うなど、ソフト面のさらなる充実を目指しています。

◎本館の学習環境など（施設・設備については前述記事(→4.3)をご参照ください)

本館では、1階をコミュニケーションゾーン、2階をサイレントゾーンと明確に区分し、従来2階にあった玄関を1階に移動し、すぐ脇にカフェテリアを配し、東側にはマルチメディアコーナー・グループ研究室・視聴覚コーナー・ブラウジングコーナーを設け、ICT機器（パソコン・プリンタ・スクリーン・プロジェクター等）の利用やグループでの学習・憩いの場を実現しました。また、キャリア教育支援のために、就職支援室との協力で、1階玄関ホールに就活本コーナーを新設しました。

2階は、自然系図書を配置した東閲覧室、個人ブースをイメージした学習机、社会科学系図書を配置した西閲覧室、そして研究個室5室を設け、静かな環境を提供しています。また、本学の貴重資料(伊能図・蜂須賀藩家臣成立書并系図等)を最適な環境で保存する貴重資料室・和装本資料室を完備しました。このうち、個人ブースは非常に利用が多く、満席状態です。

3階は、人文系図書を配置した東閲覧室、マルチメディアコーナー、落ち着いて学習できる研究個室を3室、雑誌などのボリュームのある資料を保管する積層書庫(2層)、多目的ホール、資料展示室を設けています。マルチメディアコーナーには1階同様、スクリーン・プロジェクターを設置して講習会などにも利用できるよう配慮しました。多目的ホールでは、講演会その他の催し、会議など多様なニーズに応えられるよう最新の視聴覚機器も備えています。さらに資料展示室は本学の貴重資料を自館内で展示できるスペースで、多目的ホールの講演会とリンクした展示も実施しています。

◎本館のラーニング・コモنز

平成22年度から、学内他部局の教育改革に対応して、教育支援の場として、上記スペースが有効活用されるよう調整し、名実ともにラーニング・コモنزが起動することを目指して活動をはじめました。学生の自主的な参加によりライブラリー・ワークショップを立ち上げ、就活セミナーや読書会等のイベントを開催しております。



◎蔵本分館の改修計画

医学・歯学・薬学・栄養学・保健の各専門分野が融合した場所、また地域医療関係者の交流の場として、ヘルスバイオサイエンス研究部のある蔵本キャンパスのシンボルに相応しい図書館を目指して改修工事を実施します。具体的には、将来、高度専門職業人となる学生のために共同学習の場である

ラーニング・コモンズを新設し、閲覧席やパソコンの増設を行い、グループ学習、リテラシー教育を
実践できる図書館にします。また、資料の充実・情報整備により各種国家試験へのバックアップにも
取り組みます。

先進的・国際的研究に欠かせない電子ジャーナルやデータベース等の学術情報基盤を充実させ、大
学創設前から蓄積されていた貴重な多数の資料を保存・提供し、研究者や病院関係者の研究環境を整
備します。

耐震工事だけでなく増築改修工事を実施し、利用目的に合わせたゾーニングやバリアフリー、セキ
ュリティ、アメニティの改善を図るようにしています。

◎蔵本分館のラーニング・コモンズ

1階エントランスから広がる増築部分にパソコンを備えたラーニング・コモンズを設けます。自由
に動かせる机や椅子を用意し、オープンな雰囲気話し合いながら学習できるスペースとして自主
的・創造的な学習、企画開催や人的ネットワーク形成が支援できるラーニング・コモンズを目指して
計画しています。

5. コレクション

5.1. 貴重資料

徳島大学附属図書館には、江戸時代に阿波(徳島県)と淡路(兵庫県淡路島)の両国を支配していた徳島藩及び蜂須賀家ゆかりの史料が収蔵されています。

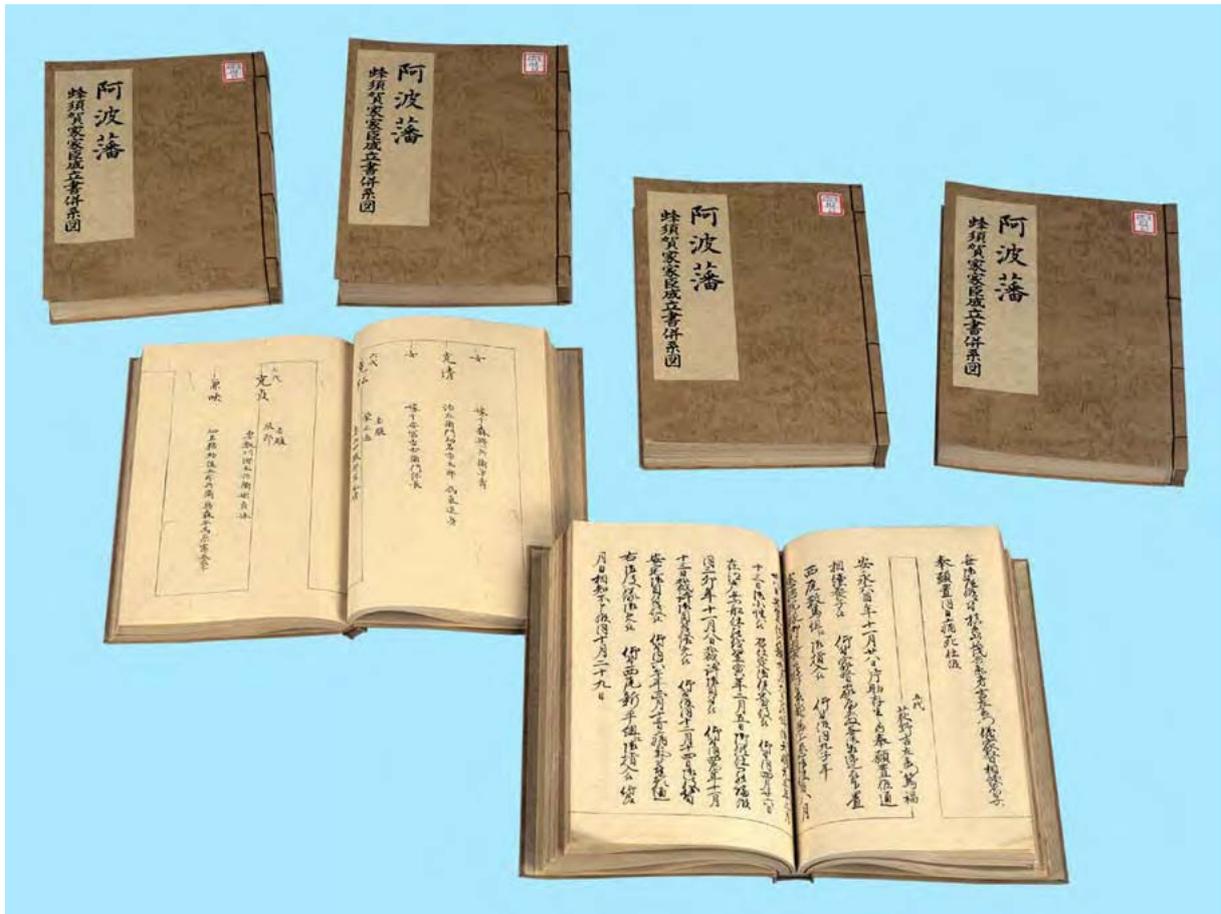
これらは近世における地域史や藩政史の研究資料として学外からの利用も多いため、マイクロフィルムや複製資料の作成に加え、後述(→6.3)するような電子化にも取り組んでいます。

◎蜂須賀家家臣成立書并系図

徳島藩士各家が代々の家督相続者について、召出・相続・隠居・死亡の期日、禄高、役職及び系図・家紋などを書き上げ藩庁に提出したものです。天保5(1834)年に作成され、その後文久元(1861)年に書き継いだものが大部分ですが、一部寛政年間や明治期に書かれたものもあります。

提出者は家老などの重臣から無足人と呼ばれる下級家臣までのすべてに渡りますが、重臣の家譜にあたるものは現在も蜂須賀家が所蔵し、最下級の家臣についての部分は国文学研究資料館に収蔵されています。徳島大学で所蔵しているのは最上級と最下級を除く、いわば家臣団の中核にあたる1,802家の家譜であり、近世における国持大名家臣の様相について多様な情報を有する貴重な資料です。

収蔵時は各家譜ばらばらの状態でしたが、収蔵後に裏打ちや和装を施すなど長期保存のための処置を行い、249冊に分け整理、保存しています。



蜂須賀家家臣成立書并系図

◎近世古地図・絵図コレクション

徳島大学附属図書館には、200点を越える絵図・古地図類が貴重資料として所蔵されており、いずれも学術・文化的価値が高い史料です。そのおもな内訳は「徳島」55点、「全国」20点、「諸国」49点、「江戸」44点、「京都」16点、「世界」17点となっています。これらの古地図の中には、蜂須賀家旧蔵の大集書であった「阿波国文庫」の印影が押されているものもあります。

このうち「徳島」の中には、阿波国・淡路国の国絵図(5鋪)をはじめ、徳島や洲本の城下絵図、近世後期の実測分間絵図(郡図・村図)、川絵図や村絵図などが含まれています。

国絵図とは、慶長10(1606)年、正保元(1644)年、元禄10(1697)年及び天保6(1835)年に幕府が各大名に命じて調進させたもので、寛永年間(1624～1644年)にも幕府巡見使を通じて献上されたといわれています。これら幕府に提出されたもののうち、幕府が直接作成した天保国絵図を除いては多くが失われていますが、諸藩が所有した控図や下図が今日に伝えられています。

また、「全国」の古地図の中には、伊能勘解由(忠敬)が作成した「沿海地図」(東日本3鋪;1804年)や「大日本沿海図稿」(西日本4鋪;年不詳)、慶応3(1867)年に幕府開成所から発行された「官板実測日本地図」(東日本4鋪)、諸国別の国絵図略図などが含まれています。



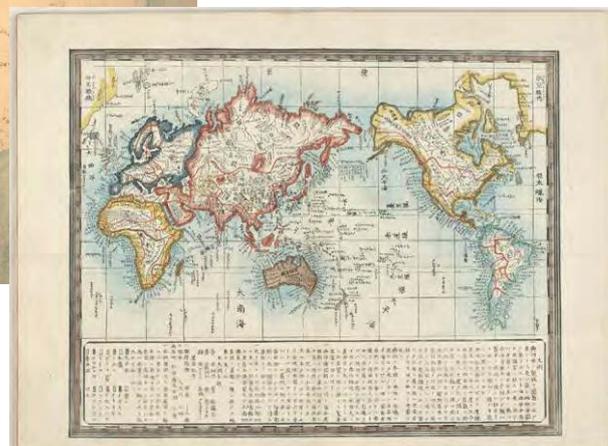
阿波国大絵図



御城下絵図



沿海地図 上



万国地理細図

5.2. 個人文庫

◎泉山文庫



本館所蔵。2,750 点。
郷土史家・島田麻寿吉氏(1874~1947, 泉山は同氏の号)旧蔵の郷土資料及び和漢書。

◎布川文庫



蔵本分館所蔵。299 点。
徳島県阿波市土成町布川清二郎氏旧蔵の江戸時代天和期から寛政期に及ぶ医学書。

5.3. 郷土資料

◎徳島県内関係資料

本館所蔵、約 3,630 冊。
徳島県及び徳島県を含む四国についての印刷体資料のコレクション。



5.4. 大型コレクション

◎府県統計書集成(明治・大正・昭和戦前)



昭和 59(1984)年度本館収蔵。
マイクロフィルム 1,140 巻。
各都道府県の土地・人口・農業・産業教育等に関する統計の集大成

◎Industrial Relations and Labor Management. 1942-1978 (労働関係等学位論文集)



昭和 61(1986)年度本館収蔵。776 冊。
米国の労働関係の学位論文リプリント集

◎The Wall Street Journal & Index : Silver Format Eastern Ed. [1889-1987] Index [1955-1985]



昭和 63(1988)年度本館収蔵。
 マイクロフィルム 539 巻, 冊子 31 点 33 冊, 索引。
 米国の著名な経済紙のバックナンバーコレクション。世界経済を研究するための重要文献。

◎空中写真 四国東部地域 (建設省国土地理院)



平成 3(1991)年度本館収蔵。約 5,700 枚。
 撮影年度昭和 49~53 年。
 撮影縮尺 8 千分の 1~1 万 5 千分の 1。
 地形・建造物の立体視が可能であり地形・地質等の基礎資料で地理学・経済学等の広範な利用が可能。

◎静嘉堂文庫所蔵古辞書集成



平成 5(1993)年度本館収蔵。マイクロフィルム 178 巻 (原本 361 点 2,137 冊)。
 平安から明治初期の古辞書, 考証・研究書の集大成。

◎Landolt-Börnstein Numerical data functional relationships in science & technology (ランドルト=ベルンシュタイン数値表)



平成 7(1995)年度本館収蔵。59 冊。
 物理・化学・天文・地球物理・工学にわたる広範囲な物理定数表。

◎Galen: Omnia quae extant opera. Livos in 7. 1550-51 (ガレノス全集)



平成 11(1999)年度蔵本分館収蔵。全 7 巻。
 1550~1551 年にヴェネチアで刊行。
 古代ギリシアの医学者ガレノスの業績集大成。

6. 電子図書館サービス

徳島大学附属図書館では、データベースや電子ジャーナルなどネットワークで提供される学術情報基盤の整備を積極的に推進しています。また、貴重資料の電子化やポータル機能の整備にも取り組んでいます。

6.1. データベース

学内のネットワークから利用できるデータベースを各種取り揃えています。

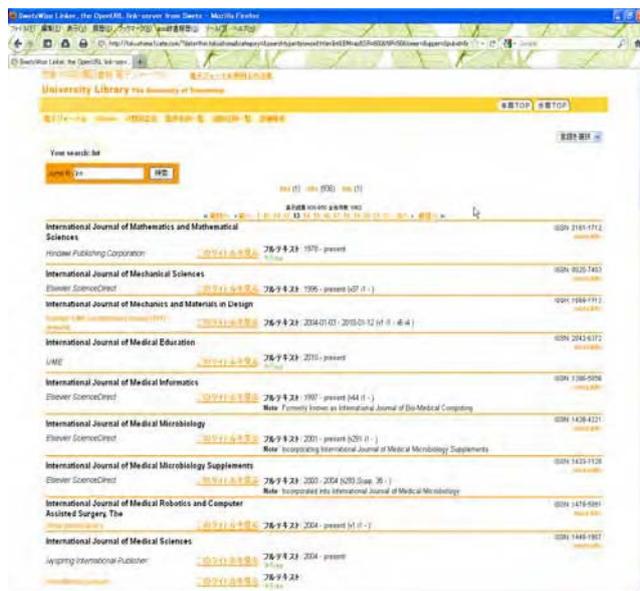
- 総合・一般
 - CiNii (国立情報学研究所(NII)による総合学術データベース)
 - JapanKnowledge+N (国内有力出版・新聞社の辞書・事典で構築された知識ポータルサイト)
 - 聞蔵 II ビジュアル (朝日新聞, AERA, 週刊朝日記事の検索・閲覧)
 - 日経 BP 記事検索サービス (日経 BP 社刊行約 50 誌のバックナンバー記事の検索・閲覧)
- 自然科学・医学系
 - Web of Science : Science Citation Index Expanded (学術文献・引用索引データベース)
 - SciFinder (世界最大の化学的情報データベース), Mobile 版あり
 - 化学書資料館 (日本化学会編纂, 「化学便覧」・「実験化学講座」・「標準化学用語辞典」の電子ブック版)
 - PubMed (米国国立医学図書館による医学及び関連領域文献データベース)
 - UpToDate(臨床医のための診断・治療指針についての医学情報データベース)
 - 医中誌 Web (日本国内の医学及び関連領域文献データベース)
 - メディカルオンライン (日本国内の医学及び関連領域の文献検索・全文提供データベース)
 - MathSciNet (米国数学会(AMS)による数学及び応用領域文献データベース)
- 人文・社会科学系
 - 官報情報検索サービス(日本国憲法施行日以降の官報の検索ができるデータベース)
 - ERIC(米国教育省と国立教育学図書館による教育学基本データベース)
- その他
 - INIS Online Database (国際原子力機関(IAEA)収集の原子力文献情報データベース)
 - JCR Science Edition (学術誌及び掲載論文の利用度・価値評価のためのデータベース)



6.2. 電子ジャーナル

電子ジャーナルとは、インターネット経由で本文の読める雑誌のことで、印刷媒体の雑誌よりも早く読む事ができます。

徳島大学では主要な出版社系電子ジャーナルパッケージとして、SciVerse ScienceDirect, Wiley-Blackwell, SpringerLink, ACS (American Chemical Society), Nature Journals 等を導入しています。これらの電子ジャーナルは、電子ジャーナル管理ツール SwetsWise Linker から利用することができます。無料電子ジャーナルも含め約 16,600 タイトルの情報を管理しています。出版社に関係なく誌名順リスト等からの検索や、電子ジャーナルページへのアクセスが可能です。その他、「リンクリゾルバ」と呼ばれる機能があり、データベースの書誌情報から電子ジャーナルのフルテキストや図書館の冊子体所蔵情報を直接参照することができます。



電子ジャーナル誌名順リスト

【リンクリゾルバによるデータベース書誌から電子ジャーナルフルテキストへのアクセス(イメージ)】



6.3. 貴重資料のデジタル化

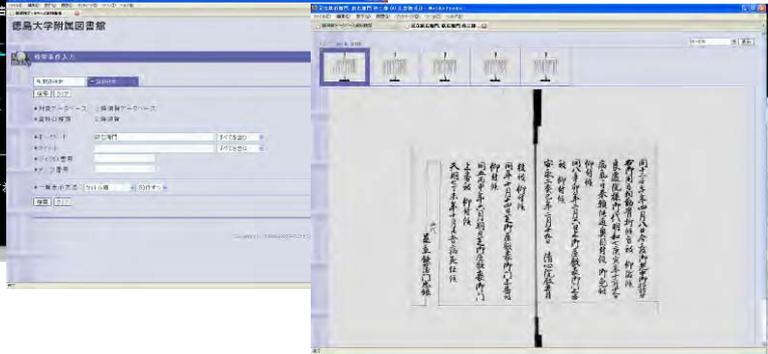
前述記事(→5.1)で紹介した貴重資料「蜂須賀家家臣成立書并系図」及び「近世古地図・絵図コレクション」は、研究資料として広く内外の利用に供されるべきものですが、同時に後世のため良好な状態で保存される必要があります。この二つの課題を両立させる手段の一つとして、徳島大学附属図書館では貴重資料をデジタル化し公開しています。



◎蜂須賀家家臣団家譜史料データベース

平成 17 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)により「蜂須賀家家臣成立書并系図」を画像データベース化し、平成 19(2007)年に公開を開始しました。

データベースには表紙等も含めた資料全文の画像約 25,800 枚が家名や個人名のインデックスを付して収録されており、インターネット上から検索、閲覧することができます。



◎近世古地図・絵図コレクション高精細デジタルアーカイブ

平成 10~11 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)により「近世古地図・絵図コレクション」のうち主要なものを高精細デジタルアーカイブ化し、平成 11(1999)年に公開を開始しました。

インターネット上から簡略画像のほか、一部については拡大表示することができます。平成 21 年度には、伊能中図 7 枚全てが可能となりました。



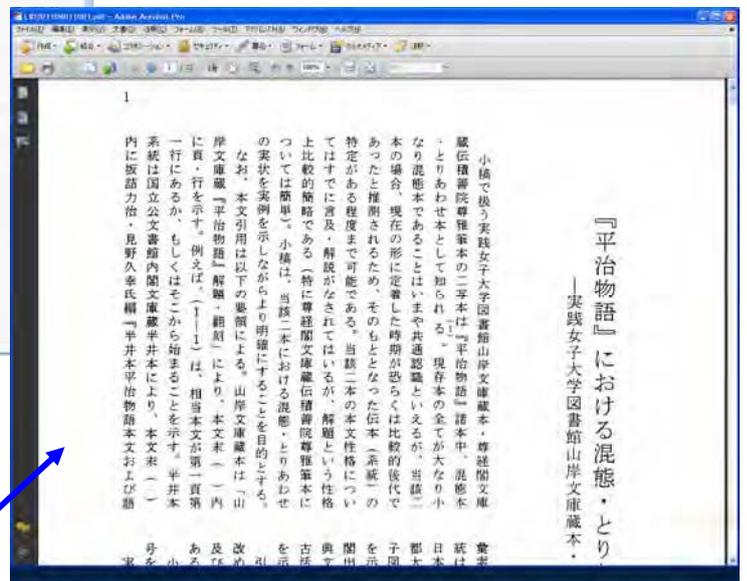
6.4. 徳島大学機関リポジトリ

現在、大学で作成された学術研究成果(論文等)を収集・保存し、全世界に向けて無償で公開する機関リポジトリという仕組みが国内外数多くの大学で構築されています。

徳島大学においても平成22年1月に試験稼動、10月に正式運用を開始しました。

今後、徳島大学で作成された紀要論文・学位論文・著作権をクリアした学術出版社論文などの学術研究成果を順次登録・公開していく予定です。

○ 2011/07/14 現在の登録件数：778件(紀要論文)



詳細	
URL	http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/repository/metadata/79907
タイトル	『平治物語』における混態・とりとむせ - 実践女子大学図書館山岸文庫蔵本・尊経閣文庫蔵本・徳島大学蔵本
タイトル記述	ペイジ番号、ニヤル、エッセイ、インタビュー、セッション、ダイアログ、ショウ、ア、ブ、ユ、ク、シ、ン、ク、イ、カ、ブ、コ、ク、シ、ン、ヒ、ヤ、ヒ、メ、ン、シ、ン、ガ、セ、ン、ノ、リ、ツ、
作成者	清水 辰雄
所属機関	ハラス、2011年
資料タイプ	紀要論文
ISSN-ISBN	13405602
DOI	10.24201/108011001
掲載誌名	言語文化研究
巻	18
開始ページ	1
終了ページ	33
発行日	2010-12
部署	徳島大学
ファイル	LID001108011001.pdf (6.6MB) 公開日: 2011-06-07
本文言語	
pdf	LID001108011001.pdf

7. 広報

7.1. 附属図書館ホームページ

http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/



本館ホームページ



蔵本分館ホームページ

徳島大学附属図書館ホームページでは、図書館の最新情報、利用案内、各種手続案内、講習会案内等の情報のほか、前述した電子図書館サービス(電子ジャーナル、データベース、貴重資料)へのポータルサービスを提供しています。

ポータルとは「入口」「玄関口」の意味で、様々な情報やサービスを利用者の視点に立ってワンストップで利用できるようにするサービスです。電子図書館のほか「学生ポータル」「教員ポータル」「貴重資料ポータル」等を用意して、インターネット上で情報を発信しています。



学生ポータル

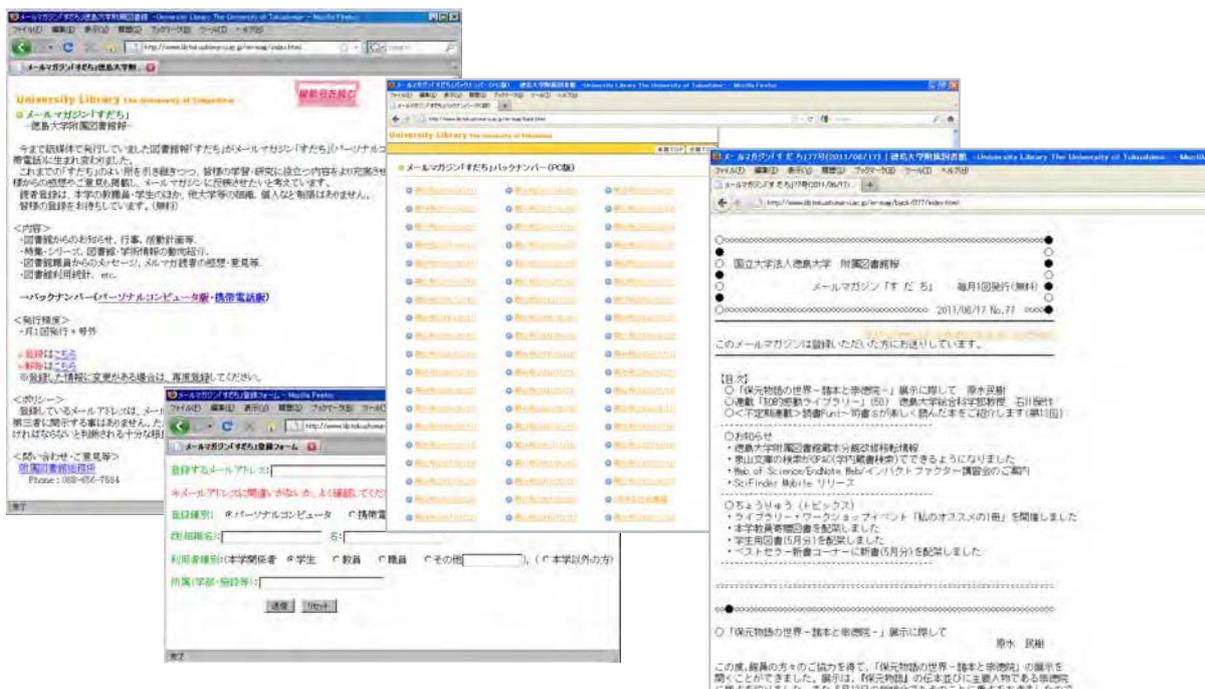


貴重資料ポータル

7.2. メールマガジン「すだち」

徳島大学附属図書館では昭和 39(1964)年から図書館報「すだち」を刊行してきましたが、速報性や配布部数といった紙媒体の限界を超えることを目的として、全国に先駆け平成 17(2005)年 2 月からメールマガジンに完全移行しました。

パーソナルコンピュータ版と携帯端末版があり、徳島大学の学生教職員に限らずどなたでも無料で読むことができます。配信登録は附属図書館ホームページの専用フォームで簡単にできるほか、バックナンバーも読むことができます。



7.3. 概要及び年次報告書

附属図書館について学内外の利用者に紹介する「図書館概要」(本冊子)と前年度に行った事業や業績を報告する「年次報告書」を毎年刊行しています。これらは冊子体で配布されるほか、電子化したものを附属図書館ホームページ上で読むことができます。



7.4. オープンキャンパス

附属図書館では、毎年、大学のオープンキャンパス開催期間にあわせて、訪れた皆様の見学案内を行っています。

平成 22 年度は、8 月 3 日から 8 月 11 日まで各学部でオープンキャンパスが開催されました。好天に恵まれ、多数の高校生、保護者が両キャンパスを見学されました。

本館では、総合科学部(8/5)、工学部(8/10-8/11)に来られた方のうち合計 103 名の来館があり、熱心に館内の施設や資料の様子を見学していました。

分館では、医学部(8/5-8/6)、歯学部(8/4)、薬学部(8/3)に来られた方のうち合計 250 名の来館がありました。



本館



蔵本分館

8. 講演会等

8.1. 学術講演会

徳島大学附属図書館では平成 3(1991)年度から学術講演会を開催しています。平成 16(2004)年度までは図書館関係者向けの専門的なテーマが主でしたが、平成 17(2005)年度からは学生を始め広く一般市民の方も参加いただけるよう、より広いテーマを取り上げるようになりました。

- 第22回学術講演会「山西家の繁栄と徳島の経済」

- 日時：平成 22 年 10 月 21 日(木) 13 時 30 分～15 時 00 分

- 講師：桑原 恵

(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 教授)

- 内容：江戸時代から明治期にかけて活躍した鳴門の廻船問屋山西家に見る阿波の経済や流通と経営規模などについて講演が行われた。

平成 21(2009)年度にリニューアルされた本館に設置された展示資料室では、7 月から「山西家文書に見る阿波の経済」の展示会を開催しており、また、講演会に併せて展示解説があり大変好評であった。

当日は、鳴門市をはじめとして県内の歴史愛好家の方など学内外から多数の参加者があり、講演後も活発な質疑応答が行われ、盛況の中に終了した。

- 参加：約 70 名



展示解説の様子



ポスター



講演会のひとコマ

8.2. 展示会等

◎展示会

附属図書館では、附属図書館所蔵資料を中心とした展示会を随時開催しています。特に、平成21(2009)年度にリニューアルオープンした本館の3階資料展示室では、貴重資料である絵図・古地図の展示会を下記のとおり開催し、今後もテーマを変えて開催する予定です。

平成22年度第2回展示会

「山西家文書に見る阿波の経済 ～幕末期鳴門の廻船問屋の活躍～」

平成22年度第3回展示会

「江戸時代の世界地図・地球全図 ―徳島大学附属図書館所蔵の古地図コレクション―」

平成23年度第1回展示会

「保元物語の世界 ―諸本と崇徳院の面から―」

平成23年度第2回展示会

「蜂須賀家伝来国絵図・古地図展 ―徳島大学附属図書館所蔵貴重資料の複製図―」

開催場所：ギャラリー新蔵

平成23年度第3回展示会

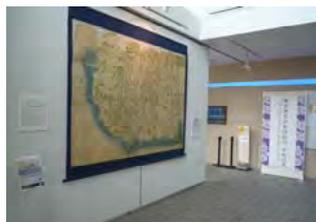
「ニーベルンゲン伝説の世界 ―英雄叙事詩からオペラ・漫画まで―」



「保元物語の世界」ポスター



「保元物語の世界」展示解説



ギャラリー新蔵展示会場



ギャラリー新蔵での国絵図展
ポスター

◎絵画の設置

本館の各閲覧室の柱や壁に大小数十点の絵画が飾られています。本学学生・教職員及び卒業生が製作した絵画、版画で、本学美術教員の企画協力により設置しています。学習、読書の合間に鑑賞できるように、図書館の建物構造、書架や机の配置、人の動線など各階・各室の雰囲気や考慮しながら、絵画を設置しています。

◎プチ・展示

プチ・展示として、1つのテーマに沿った図書館所蔵資料を紹介しています。本館玄関ホールなどで、随時開催しています。平成23年度の第1回は、「福島原発事故を考える」のテーマで開催しました。



展示の様子

8.3. 知的感動ライブラリー

平成 19(2007)年度から「知的感動ライブラリー」と称し、学生、教職員、一般市民等が共に芸術作品に接し或いは読書する喜びを分かち合いながら読書習慣並びに情操教育を推進することを目的として、石川元館長を講師として毎月 1 回映画・オペラ鑑賞会や読書会等を開催することとしています。

また、開催案内を兼ねてメールマガジン「すだち」に連載記事を掲載しています。

なお、映画・ビデオ等の上映会は事前に著作権者等の許諾を得たうえで開催しており、許諾を得られない場合は視聴覚コーナーでの個人鑑賞とメールマガジンまたは原作読書会での解説により実施しています。

第 38 回 6 月 24 日(木)

NHK 土曜ドラマ『遥かなる絆』鑑賞会(第 5 回および第 6 回放送分)[多目的ホール]

第 39 回 7 月(※メールマガジン上での解説)

ショパン『別れの曲』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 40 回 8 月(※メールマガジン上での解説)

黒澤明監督『八月の狂詩曲(ラプソディ)』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 41 回 9 月(※メールマガジン上での解説)

黒澤明監督『七人の侍』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 42 回 10 月(※メールマガジン上での解説)

モーツァルトの『魔笛』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 43 回 11 月(※メールマガジン上での解説)

ベートーヴェンの歌劇『フィデリオ』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 44 回 12 月(※メールマガジン上での解説)

黒澤明監督『虎の尾を踏む男達』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 45 回 1 月(※メールマガジン上での解説)

内田吐夢監督『宮本武藏』第一部(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 46 回 2 月(※メールマガジン上での解説)

内田吐夢監督『宮本武藏』第二部「般若坂の決斗」(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 47 回 3 月(※メールマガジン上での解説)

内田吐夢監督『宮本武藏』第三部「二刀流開眼」(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 48 回 4 月(※メールマガジン上での解説)

内田吐夢監督『宮本武藏』第四部「一乗寺の決斗」(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 49 回 5 月(※メールマガジン上での解説)

内田吐夢監督『宮本武藏』第五部「巖流島の決斗」(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 50 回 6 月(※メールマガジン上での解説)

不朽の名画『風と共に去りぬ』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

※許諾を得られなかったため上映会形式を取らなかった。

9. 地域社会及び学外機関との連携・協力

9.1. 一般市民への図書館公開

徳島大学附属図書館では昭和 63(1988)年度から貸出を含めた一般の方への利用サービスを開始しました。平成 10(1998)年度から利用申請手続を簡素化し、申込み当日から利用できるようになっていきます。なお、貸出日数及び冊数は下表のとおりです。

	冊数	期間
本館	5冊	14日間
蔵本分館	3冊	

その他利用について詳しくはホームページの案内をご覧になるかカウンターでお訊ねください。また、最近2年間の学外の方の利用状況は下表のとおりです。

	年度	本館	分館	計
登録者数	22	1,103人	911人	2,014人
	21	927人	916人	1,843人
入館者数	22	20,667人	10,318人	30,985人
	21	13,838人	11,850人	25,688人
貸出人数	22	2,211人	1,359人	3,570人
	21	1,642人	955人	2,597人
貸出冊数	22	5,844冊	2,959冊	8,803冊
	21	4,149冊	2,080冊	6,229冊

9.2. 県内図書館との連携

◎徳島県立図書館の統合情報検索

<http://alisliboudan.tokushima-ec.ed.jp/cgi-bin/ilisod/odplus.sh>

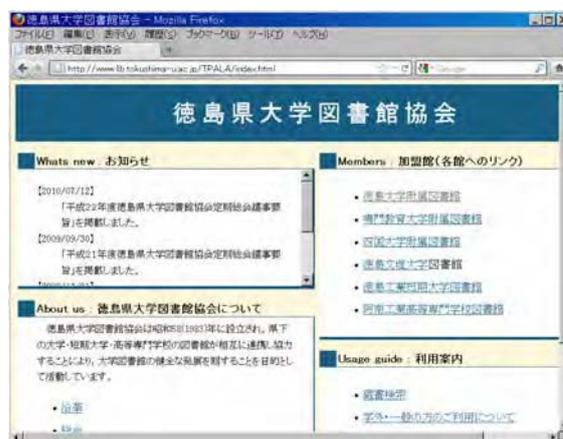
(徳島大学附属図書館のホームページからもリンクしています)

徳島県立図書館が運用する統合情報検索サービスに参画しています。このサービスにより、徳島県立図書館、徳島県内の主要市・町立図書館、徳島大学附属図書館の他、国立国会図書館、NII(国立情報学研究所)のWebcatに参加する全国の大学図書館・公共図書館の蔵書を横断検索することができます。

なお、徳島県立図書館には徳島大学附属図書館の利用案内を送付し、利用者に配布しています。

◎徳島県大学図書館協会

徳島県大学図書館協会は、県内の大学等図書館の連携を緊密化することにより図書館の発展を期すことを目的として1983(昭和58)年に設立され、徳島大学、鳴門教育大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、及び阿南工業高等専門学校の各図書館が加盟し活動を行っています。



徳島県大学図書館協会ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/TPALA/index.html>

9.3. 大学図書館の協会・協議会

徳島大学附属図書館は、前述した徳島県大学図書館協会のほか、中四国地方や全国の各種大学図書館関係団体に加盟し連携活動を行っています。

◎国立大学図書館協会

全国の国立大学、放送大学及び大学共同利用機関の計 91 図書館を会員とする組織で、図書館機能の向上を支援するとともに学術情報流通基盤の発展に貢献し、大学の使命達成に寄与することを目的としています。大学図書館の機能向上に関し必要な調査研究、学術情報資源の共同整備と相互利用の促進、大学図書館職員の資質向上のための事業、及び学術情報流通に関する国内外の団体との連携・協力等の事業を行っています。平成 23 年度は、中国四国地区(広島大学)で総会が開催されました。



国立大学図書館協会ホームページ
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/janul/>



国立大学図書館協会中国四国地区協会ホームページ
<http://simone.lib.okayama-u.ac.jp/>

◎国立大学図書館協会中国四国地区協会

中国四国地方 9 県の国立 10 大学の図書館を会員とする組織で、国立大学図書館協会の地域組織として他地区協会等と連携するほか、独自の事業グループ等を形成し、より地域に密着した課題や活動に取り組んでいます。

◎中国四国地区大学図書館協議会

中国四国地方 9 県の 62 大学の図書館を会員とする組織で、国立・公立・私立の枠を超えて大学図書館の共通問題を検討・討議し、その健全な発展を期することを目的としています。「中国四国地区大学図書館協議会総会」を毎年 4 月に各県の輪番で開催しており、平成 23(2011)年度は鳥取大学を当番館として開催されました。



中国四国地区大学図書館協議会ホームページ
<http://simone2.lib.okayama-u.ac.jp/>

◎日本医学図書館協会

医・歯・保健・生命科学領域の学部等を持つ大学や病院等医療機関の図書館及び個人を会員とする組織で、図書館事業の振興等により保健・医療その他関連領域の進歩発展に寄与することを目的としています。



日本医学図書館協会ホームページ
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmla/>

10. 所在地・アクセス

10.1. 所在地と交通アクセス



◎本館

〒770-8507 徳島市南常三島町2丁目1番地（徳島大学常三島キャンパス内）

【徳島空港から】

- 徳島駅行リムジンバスに乗り、「徳島大学前」下車、徒歩約5分。

【JR 徳島駅から】

- 徳島市営バス「島田石橋」行、「商業高校」行、「循環線(左回り)」等に乗り、「助任橋」又は「徳島大学前」下車、徒歩約5分。

◎蔵本分館

〒770-8508 徳島市蔵本町3丁目18番地の15（徳島大学蔵本キャンパス内）

【徳島空港から】

- 徳島駅行リムジンバスに乗り、「徳島駅」下車、バスまたはJR乗換え。

【JR 徳島駅から】

- 徳島市営バス「上鮎喰」行、「地藏院」行、「名東」行、「循環線(右回り)」等に乗り、「蔵本中央病院前大学病院前」又は「医学部前」下車、徒歩約5分。
- JR 徳島線(よしの川ブルーライン)阿波池田方面行(下り)に乗り、「蔵本駅」下車、徒歩約10分。

※ 徳島駅から常三島・蔵本各キャンパスへのバス路線について詳しくは、徳島駅前バス乗り場の案内所でお訊きください。また、下記のサイトでも調べることができます。

- とくしまバス Navi <http://www.tokushima-tdm.jp/bus/pc/>
- 徳島市交通局 <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/bus/>
- 徳島バス <http://www.tokubus.co.jp/>

10.2. キャンパスマップ

◎常三島キャンパス



◎蔵本キャンパス



附属図書館蔵本分館

附属図書館蔵本分館(仮設図書館)
平成23年9月から平成24年2月まで



徳島大学附属図書館概要 平成 23 年度

平成 23 年 8 月発行

発行 徳島大学附属図書館

〒770-8507 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

Tel. (088)656-7584

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

編集 徳島大学附属図書館広報検討ワーキンググループ